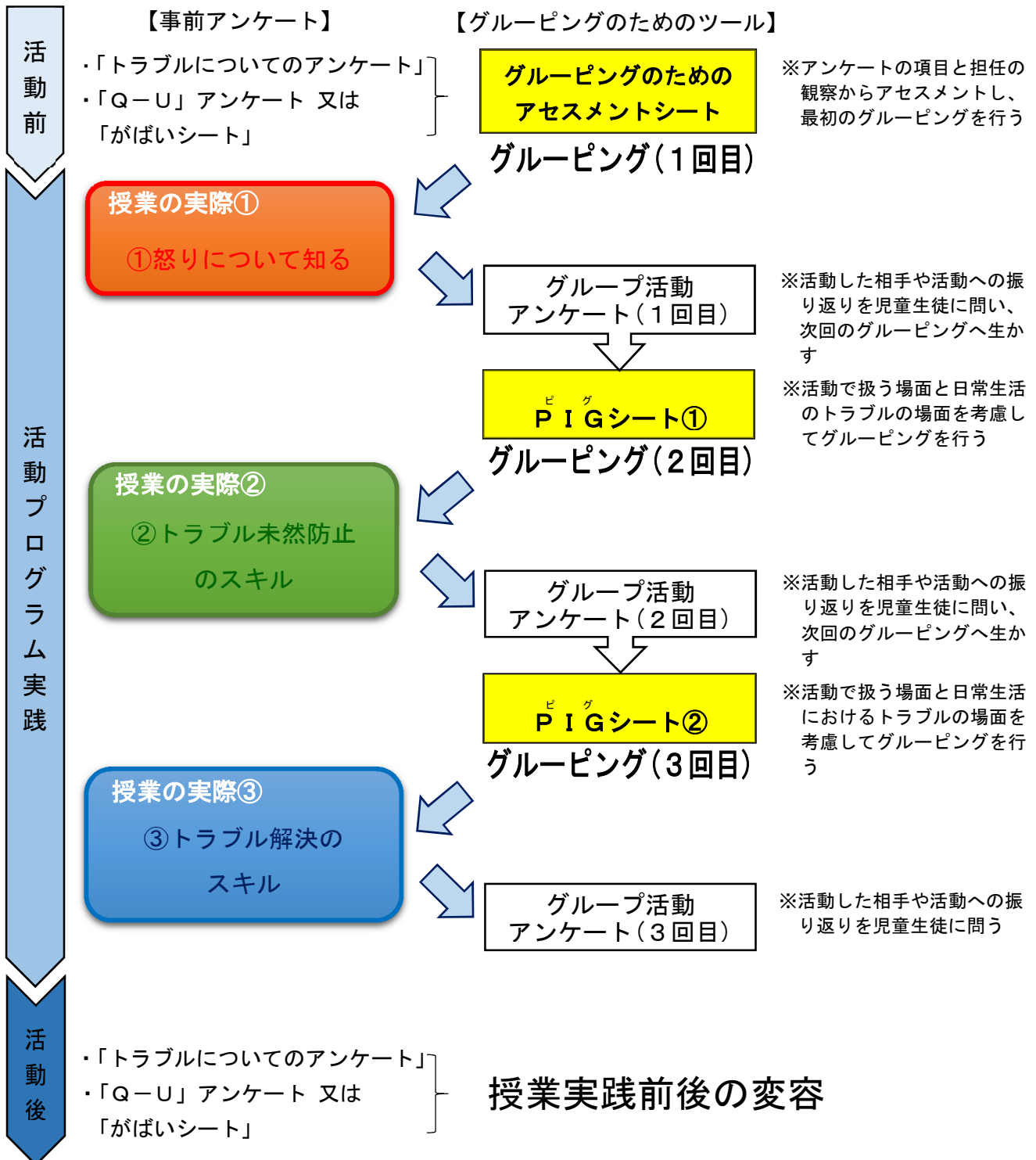


2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際

ア 授業実践のイメージ

授業実践に当たり、児童生徒の実態や発達段階に応じて、ペアやグループを意図的に構成し活動させました。①怒りについて知る、②トラブル未然防止のスキル、③トラブル解決のスキルの各学習内容に合わせて、その都度グルーピングを行いました。各学習内容と児童生徒同士の関係性とを併せてグルーピングすることにより、ロールプレイングやシェアリングを円滑かつ効果的に進めました。



グルーピングのポイント



心を扱うデリケートなプログラムだからこそ、大事にしたい！

本研究では、活動プログラムの中で怒りの感情や児童生徒の身の回りによく起きるトラブルの場面を取り扱いました。特に、トラブルの場面を再現するロールプレイング等の活動を進めるに当たり、児童生徒の心理面に配慮することが不可欠であり、活動するペアやグループの構成が重要であると考えました。



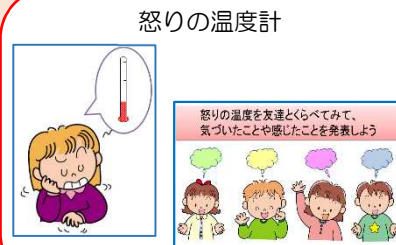
学習のねらいをより達成するために
児童生徒の心理面に配慮するために

【活動プログラムの流れ】

【関係性を考慮したグルーピング】

① 怒りについて知る

- ・トラブルのときに抱く怒りの感情を客観的に捉える
- ・怒りへの対処法を知る



望ましい組み合わせ

- ・日頃の関係性 ◎

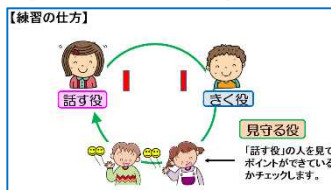
避けた方がよい組み合わせ

- ・日頃の関係性 △
- ・怒りやすいタイプ同士
- ・最近イライラした様子が見られた者同士
- ・怒った時に暴れたり、人や物を傷付けたりする者同士

② トラブル未然防止のスキル

- ・対人関係の基本的なスキルや対人関係の問題場面でのスキルについて学習する

トラブルにならないような話し方・聴き方を練習しよう（ロールプレイング）



望ましい組み合わせ

- ・日頃の関係性 ◎
- ・押しつけさん&さわやかさん
- ・もじもじさん&さわやかさん

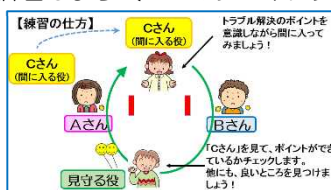
避けた方がよい組み合わせ

- ・日頃の関係性 △
- ・押しつけさん&押しつけさん
- ・もじもじさん&もじもじさん
- ・取り扱うトラブルの場面と同じような場面を経験した者同士
- ※あえて組む場合も有り

③ トラブル解決のスキル

- ・トラブルの場面での第三者(メディエーター)として関わるためのスキルについて学習する

友達のトラブルを解決する方法を練習しよう（ロールプレイング）



望ましい組み合わせ

- ・日頃の関係性 ◎

避けた方がよい組み合わせ

- ・日頃の関係性 △
- ・取り扱うトラブルの場面と同じような場面を経験した者同士
- ※あえて組む場合も有り